



片柳中学校だより

片 柳

第6号 令和8年8月26日発行

さいたま市立片柳中学校

さいたま市見沼区大字御蔵551

TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

探究すると、どんな世界が見えるのか？

校長 佐久間 貴宏

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。部活動の大会やコンクール、家族との時間、地域行事、学習など、それぞれが過ごした経験は、これからの学びを支える大切な「材料」です。各教室に掲示している「探究のサイクル」を、2学期の学びの土台として改めて意識してみましょう。

STEP1では「なぜだろう？」という疑問から課題を決め、STEP2で情報を集め、STEP3で整理・分析し、STEP4でまとめ・表現します。振り返りから新たな疑問が生まれ、次の課題へとつながるこの流れを意識すると、学びはより深まります。夏休みに見聞きしたことをこのサイクルに乗せることで、2学期の学びはさらに豊かになります。



今年の夏も、熊本県での震災、気候変動による暑さや千葉での記録的な集中豪雨、スポーツの国際大会、AI技術の進展など、社会は大きく動きました。ニュースをただ受け取るのではなく、「なぜこうなっているのか」「自分たちにできることは何か」と問い直す姿勢が、探究の第一歩です。社会の変化を自分の学びと結びつけることで、視野は大きく広がります。

本校では、「言語能力」「問題発見・解決能力」「情報活用能力」「コミュニケーション能力・他者と協働する力」「自己調整力」の5つの資質・能力を育成しています。これらの中心にあるのが自己調整力であり、「振り返りを活用しながら、自分の強みと弱みを理解し、与えられた期間内でどうすればよいかを考え、粘り強く取り組むことができる」姿をめざしています。授業や家庭学習、部活動、行事の準備などで「今日の自分を振り返る」「明日の自分に一つ約束をする」ことを続けると、自己調整力は確実に育っていきます。

2学期は、学習も行事もいっそう充実する時期です。授業では、1学期の学びを土台に、より深い内容に挑戦していきます。総合的な学習の時間では探究のサイクルを活かしながら、自分たちのテーマについて調べ、まとめ、発表する活動が続きます。行事や部活動では、仲間と協力しながら、自分の役割を果たす場面が増えていきます。その一つひとつが、5つの資質・能力を伸ばす機会です。

うまくいく日もあれば、思うようにいかない日もあるでしょう。しかし、失敗やつまづきも探究のサイクルの中では大切な「材料」です。「なぜうまくいかなかったのか」「次はどう工夫するか」と振り返ることで、自己調整力は確実に育っていきます。小さな一歩でもかまいません。自分なりの目標を一つ決めて、2学期のスタートを切りましょう。片柳中学校の生徒のみなさんが、それぞれのペースで探究のサイクルを回し、自己調整力を発揮しながら成長していくことを心から期待しています。2学期も、共に学び、共に歩んでいきましょう。